地域別重点施策に係る施策取組状況評価

【会津地域】

施策の展開方向	重点施策	県の評価（概要）	
		施策を推進する上での主な課題	主な今後の取組みの方向性
地域づくりに貢献する新たな観光の推進 豊かな観光資源や地域の魅力を生かした、広域観光、グリーン・ツーリズム、産業観光などの地域に活力をもたらす新しい観光への取組みを支援します。	① 地域に眠る素材の発掘と磨き上げによる会津ならではの新しい観光商品の開発やグリーン・ツーリズム、エコ・ツーリズムなどにより、滞在型観光を推進します。	◆テクノアカデミー会津との連携による企画・商品化。 ◆グリーン・ツーリズムの組織的な受け入れ。	◆地域資源（テクノアカデミー会津のシーズ、学生の発想）を生かした企画・商品化を推進する。 ◆受入農家を確保し、組織的な受入体制の構築を進め、その後の交流による農作物の購入や観光に繋げるなど、集落単位での取り組みを支援する。
	② 会津地域全体に広がる観光資源を生かした交流人口の拡大による地域活性化を図るため、会津縦貫道（会津縦貫北道路、会津縦貫南道路）の整備など、広域的なネットワーク形成による連携軸の強化や会津の魅力の発信による観光交流を推進します。	◆会津縦貫道（会津縦貫北道路、会津縦貫南道路）の早期全線開通。 ◆関係市町村、観光地の店舗、宿泊施設等の情報の共有と一元化。	◆会津縦貫北道路の早期全線開通と会津縦貫南道路の１、２、３工区の早期調査区間格上げを要望する。 ◆関係機関と連携し、ホームページや道の駅を利用した情報発信を推進する。
地域特性を生かしたさまざまな交流の促進 歴史や自然、地域の伝統・文化などの地域資源を生かした交流を促進するとともに、過疎・中山間地域の市町村との連携・支援を推進します。	③ 奥会津地域などの過疎化、高齢化が著しく進行する地域に対して、地域経営に必要なさまざまな支援を行います。また、クリーンなエネルギーである水力発電などと地域の共生が図れるよう支援します。	◆奥会津振興センターにおける自立的な地域資源活用型振興方策の推進。	◆奥会津振興センターの取組みを、中長期にわたり支援していく。
	④ 地域住民が誇りと自信を持てる地域づくり活動や地域資源を生かした地域の再生・活性化の取組みを支援します。	◆移住者受入に対する住民の意識醸成。	◆市町村の移住者受入の取組み支援するとともに、住民の理解と協力を促進していく。
	⑤ 地域住民の健全な心身や豊かな人間性、郷土愛を育む食育に取り組み、食に関する知識や食を選択する力の習得を支援します。	◆子どもたちを取り巻く食環境の変化に伴う食生活の乱れ。	◆望ましい食習慣や食生活を実践していく力（食べる力）や感謝の心、郷土愛を育む食育を学校、家庭、地域との協働により推進していく。
	⑥ 過疎・中山間地域の安全で安心な生活を支えるため、地域医療の充実に努めるとともに、自然災害への適切な対応を図るほか、未改良区間や冬期交通不能区間の解消、代替路線のない地域の生活道路の整備に努めます。	◆地域医療ガイダンスの拡充と、地域医療体験研修の内容充実。 ◆国道２５２号（早戸バイパス）の早期開通。	◆地域医療ガイダンスは、県立医科大学や大学の県人会等と連携し、東京でも開催するとともに、地域医療体験研修は、参加医学生や医療機関の意見を取り入れながら内容の充実に努める。 ◆国道２５２号（早戸バイパス）の早期開通に向けて、事業を推進していく。
地域企業の強みを生かし、社会環境の変化にも対応した産業の振興 会津大学等との産学官連携、企業連携などを活用するとともに、研究環境の整備、人材育成などを通じて、産業集積の促進を図ります。また、社会環境の変化に対応した農林業などの取組み支援や農商工連携を推進します。	⑦ 産学官連携、企業連携などの多種多様なネットワーク組織を支援することにより、産業集積のための基盤づくりを推進します。また、真面目で勤勉とされる労働力などの立地優位性や会津大学等の産学官が持つ研究・技術シーズを生かした企業誘致を推進します。	◆大学のもつ専門的な研究・技術シーズのわかりやすい提供。 ◆企業ニーズの把握。 ◆産学官連携の仕組みを生かした持続的な事業の推進。	◆産学連携を想定したわかりやすいシーズ集の提供を行う。 ◆企業ニーズを把握するため、金融機関と連携したアンケートや企業訪問を行う。 ◆産業界、大学、行政の産学官連携関係機関の情報共有と連携を生かしたセミナーを開催する。
	⑧ 県内一の水田整備率など恵まれた生産基盤や地域資源・特性を生かし、農林業の生産力経営力の強化や農商工連携などにより、地域経済の活性化を図ります。	◆森林整備が推進されるよう、間伐材生産の低コスト化、間伐材利用促進。 ◆地域産業６次化に意欲のある各事業者に対する支援。	◆森林施業の集約化を図りながら森林整備の加速化と林業・木材産業等の再生に取り組んでいく。 ◆地域産業６次化ネットワークの拡大を図るとともに、新商品開発や既存商品のブラッシュアップなどを図る事業者やグループに対する支援を強化する。
	⑨ 職業能力開発を一層推進することにより、地域経済に適合し、社会や企業のニーズに対応した人材の育成を図ります。	◆産業界のニーズに応じた人材の育成。 ◆高度な知識・技能を備えた人材の育成。	◆高等教育機関等から優れた専門知識を有する講師を招へいし、地域の産業ニーズに対応した実践的な人材の養成を図る。 ◆観光商品の企画開発やＩＣＴを活用した外国語の習得、資格の取得など、より高度な教育訓練を実施する。

【会津地域】

施策の展開方向	重点施策	県の評価（概要）	
		施策を推進する上での主な課題	主な今後の取組みの方向性
自然環境、景観、文化の保全・継承と活用 森林環境の適正な管理を推進するとともに、猪苗代湖、只見川などの自然環境、景観の保全・活用や歴史、伝統、文化などの継承・活用による地域活性化を図ります。	⑩　磐梯猪苗代地域や阿賀川・只見川流域に代表される会津の優れた自然環境や景観の保全に努めます。また、猪苗代湖や裏磐梯湖沼群などの水環境の保全に努めます。	◆県民、事業者、団体等の個々の取り組みの浸透と拡充。 ◆より効果的な水質改善対策の検討、実施。	◆協議会活動等による地域住民、関係団体、行政が一体となった水環境保全対策を一層推進していく。 ◆より効果的な水質改善対策を検討し、猪苗代湖及び裏磐梯湖沼水環境保全推進計画に反映させ、猪苗代湖等の水環境保全対策を総合的・計画的に推進していく。
	⑪　森林環境の保全とその利活用を図るとともに、農業の持つ多面的機能を生かしつつ、環境と共生する農業を推進します。	◆カーボン・オフセットの考え方や制度の普及。 ◆化学肥料や化学農薬の大幅な低減を行う特別栽培の拡大。 ◆有機栽培の面積拡大のために、経営安定に向けた販路の確保。	◆県民、事業者等に対し、カーボン・オフセットの考え方や制度の普及啓発を積極的に行うとともに、導入を検討している事業者等に必要な支援を行う。 ◆環境負荷低減の取組意向のある集落に対して、栽培技術等の支援を行う。 ◆有機農産物の流通に精通したコーデイネーターを活用し、マッチングや販路開拓、需要情報に基づく生産体制への助言を行い、販売力強化を支援する。
	⑫　地域に伝わる伝統・文化・技術などの保存・継承と、これらの活用による発展的・創造的な取組みを支援します。	◆歴史、文化に対する理解促進と観光資源との連携。	◆歴史、文化等の理解を促進するため、より分かりやすく情報を発信するとともに、歴史、文化等を新たな視点で見つめ直し観光資源として発掘する。